

第7回連続講座『『いのち』を考える』 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
1/30 (金)	藤本 統紀子（ふじもと ときこ） エッセイスト 【演題】 家族を見送るそれぞれの死生観	大阪女子大学英文科卒業。スポーツニッポン新聞社に文化部記者として勤務。1958年12月作家藤本義一氏と結婚、退社。16年間専業主婦に専念。関西テレビの朝のワイドショー司会者としてマスコミ界に復帰、多数のテレビ、ラジオ番組に出演。女性の生き方・家庭問題等をテーマに司会者、講演会講師、パネラー、エッセイストとして活躍。1988年、女性のトータル美を磨くフィッシングスクール、ジョン、ロバート・パワーズ大阪校・神戸校校長に就任。著書に「胸を張って生きなさい(主婦の友社)」「女30代しなやかに生きる(海竜社)」「娘は相棒(青春出版社)」等
2/6 (金)	戸松 義晴（とまつ よしはる） 浄土宗総合研究所主任研究員 【演題】 「いのちの引き継ぎとしての終活」～流通ジャーナリスト金子哲雄さんからのメッセージ～	慶応義塾大学、大正大学大学院、ハーバード大学神学校で学んだ後、慶応義塾大学医学部非常勤講師、全日本仏教会事務総長、日本宗教連盟事務局長を歴任
2/13 (金)	楠木 重範（くすき しげのり） チャイルド・ケモ・クリニック院長 【演題】 がんになっても笑顔で育つ	中学2年生のときに、小児がんの一種「悪性リンパ腫」を発症。合計約3年の闘病生活の後、治癒する。1999年小児科医になる。2006年医療者、患者家族などと「がんになっても笑顔で育つ」を目標にNPO法人チャイルド・ケモ・ハウスを設立。2013年神戸市ポートアイランドに、小児がんのこどもと家族のための治療施設「チャイルド・ケモ・ハウス」を建設。2013年よりチャイルド・ケモ・クリニック院長。
2/20 (金)	齋藤 富雄（さいとう とみお） 元兵庫県副知事・兵庫県初代防災監 【演題】 災害多発列島で生きる	関西大学法学部卒業。知事公室次長兼秘書課長、西播磨県民局長等を歴任の後、1996年4月、兵庫県の危機管理全般を統括する初代「防災監」に就任。阪神・淡路大震災の教訓を生かした防災対策の充実強化に努めるとともに、ロシアタンカー重油流出事故、O-157対策をはじめ多くの緊急事案を指揮。 2001年4月に出納長、同年9月より副知事、2009年9月退任。 政府の地震調査研究推進本部専門委員、中央防災会議専門委員、佐用町台風第9号災害検証委員会委員などを歴任。 現在、公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長。
2/27 (金)	鍋島 直樹（なべしま なおき） 龍谷大学文学部教授 人間・科学・宗教 オープンリサーチセンター長 【演題】 東日本大震災の悲しみに届く光～行方不明の夫に宛てたラブレター～	専門 真宗学・仏教の生命観、親鸞の死生観とビハーラ活動 略歴 昭和62年 龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得 昭和63年 龍谷大学文学部専任講師 平成8年 龍谷大学文学部助教授 平成10年 カリフォルニア大学パークレイ校客員研究員
3/6 (金)	大野 裕（おおの ゆたか） (独) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター センター長 【演題】 「こころの健康と認知行動療法」	慶應義塾大学医学部卒業、慶應義塾大学医学部精神神経科での研修を経た後、コーネル大学医学部、ペンシルベニア大学医学部に留学。慶應義塾大学教授を経て現職。日本認知療法学会理事長。認知行動療法活用サイト「うつ・不安ネット」監修。